

第21回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水2017北海道大会報告

清水 勝公（海洋深層水利用学会 研究発表企画委員会委員長）

「海洋深層水2017北海道大会」が、平成29年10月12日（木）、13日（金）の両日、北海道目梨郡羅臼町の「公民館2階大ホール」において開催されました。大会の概要は以下の通りです。

【主催】海洋深層水利用学会

【後援】文部科学省、水産庁、国土交通省北海道開発局、北海道庁、羅臼町、八雲町、岩内町

【協賛】知床らうす深層水利用協議会

【研究発表企画委員会】

委員長 清水勝公（清水建設株式会社）

委員 白石 學（一般社団法人マリノフォーラム21）

後藤裕康（静岡県水産技術研究所）

大貫麻子（一般社団法人海洋産業研究会）

【実行委員会】（開催場所対応委員会）

委員長 長野 章（一般社団法人全日本漁港建設協会）

副委員長 湊屋 稔（羅臼町）

岩村克詔（八雲町）

上岡雄司（岩内町）

委員 平田 充（羅臼町）

山石秀樹（羅臼町）

中野 涼（羅臼町）

釜谷豊和（岩内町）

鈴木貴幸（岩内町）

田村春夫（八雲町）

黒丸 勤（八雲町）

【開催状況】

開会挨拶

高橋正征（海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）

長野 章（実行委員長・一般社団法人全日本漁港建設協会会長）

桑島隆一（来賓祝辞・国土交通省北海道開発局釧路開発建設部部長）

湊屋 稔（来賓祝辞・羅臼町町長）

研究発表

海洋・水質／生物・水産／農業・畜産関連：7題（座長：山田勝久・（株）ディーエイチシー）

健康・医療関連：7題（座長：大塚耕司・大阪府立大学大学院）

利活用システム関連他：7題（座長：川北浩久・高知県海洋深層水研究所）

ポスター発表：3題



図1 会場の様子



図2 第21回大会オープニング

特別シンポジウム：海洋深層水施設の整備と維持管理について

司会 佐々木 柁博（シリカジャパン北海道）
 山本 剛（北海道開発局）
 山石秀樹（羅臼町）
 釜谷豊和（岩内町）
 黒丸 勤（八雲町）
 鹿熊信一郎（沖縄県海洋深層水研究所）
 西岡洋平（室戸市役所）
 出間伸資（室戸市役所）

閉会挨拶

深見公雄（海洋深層水利用学会副会長・高知大学大学院教授・学長特別補佐）

見学会

①羅臼漁港・秋サケ定置漁業の見学会

②羅臼漁港内取水・衛生管理型漁港施設、羅臼ビジターセンター、道の駅「道の駅知床・らうす」

【参加状況】参加者：会員 75 名、一般 30 名、学生 3 名、計 130 名（スタッフ 22 名）

（韓国、台湾の海外からも参加を頂きました）

本大会は北海道において深層水取水を行っている 3 町合同（岩内町、八雲町、羅臼町）で開催されましたが、遠隔地であるにもかかわらず参加者数の多い、非常に盛大な大会となりました。また、全国利用者懇談会および特別シンポジウムにおいては北海道地区における「海洋深層水の利活用上の課題と施設維持管理上の課題」についても活発に議論されました。特に、早朝 4 時に集合して行われた「漁港見学会」には大会参加者の半数以上の方々が参集し、地場のボランティアによる説明に加えて、羅臼町長による説明も戴くことができ、非常に有意義な見学会となりました。

最後に、大会開催に当りましては 3 町の実行委員に加え、開催地羅臼町役場の皆様及び協議会の皆様には多大なご協力を得て準備・運営することができましたことを、本紙面を通じましてお礼を申し上げます。また、会員の皆様方には、日頃、本学会活動にご理解とご協力を賜りまして、当大会の開催責任者として感謝申し上げる次第です。次年度は「韓国」での開催となりますが、スケジュール調整の上、多数の御参集を頂きますようお願い申し上げます。



図3 特別シンポジウム



図4 羅臼漁港見学会風景（左は地元ボランティアによる説明）